



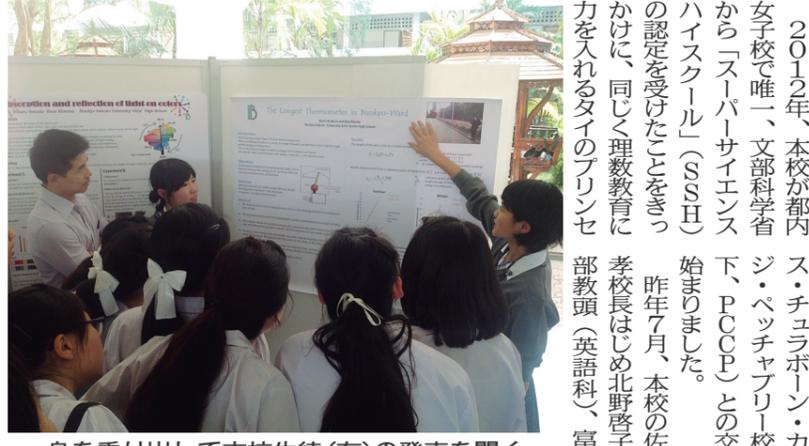
<本郷キャンパス>学校法人文京学園
文京学院大学経営学部・外国語学部・保健医療技術学部・大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196 センター
〒113-8668 東京都文京区向丘 1-19-1
☎大 03-3814-1661 生涯 03-5684-4816
文京学院大学文京幼稚園
〒113-0023 東京都文京区向丘 2-4-1
☎幼 03-3813-3771

<ふじみ野キャンパス>文京学院大学人間学部・保健医療技術学部・大学院／文京学院大学ふじみ野幼稚園
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保 1196
☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806
<駒込キャンパス>文京学院大学女子高等学校／文京学院大学女子中学校
〒113-8667 東京都文京区本駒込 6-18-3
☎ 03-3946-5301

文京学院は、平成 26 年 10 月 23 日に創立 90 周年を迎えます。

高校生 生徒 10 名タイへ！ 教育連携校にて英語で研究発表

理科学研究所発生・再生科学総合研究センター（神戸市）の小保方晴子研究ユニットリーダーらが、新たな万能細胞（STA-IP細胞）を作り出したニュースが、世界を駆け巡りました。本校の「リケジョ」たちも、東京都の女子校で唯一、文部科学省からSSHの認定を受けたことを誇りに、日々研究・発表に動んでいます。



身を乗り出して本校生徒(右)の発表を聞く生徒たち(タイのPCCP科学フェアにて)

2012年、本校が都内 ス・チュラボン・カレッジ女子校で唯一、文部科学省 ジ・ベッチャプリー校(以下「スパーサイエンス」下、PCCP)との交流が「ハイスクール」(SSH) 始まりました。

昨年7月、本校の佐藤孝校長はじめ北野啓子高等部教頭(英語科)、富樫純野の授業を英語で実施。この1月には、PCCP主催の科学フェアへの招待を受け、ボスター発表部門において本校高2生徒10名が、SSHの一環で取り組んできた次の研究について英語で発表しました。

- 井上瑛子(梅)「卵の殻でチョコレートを」
- 鴨下みゆき(梅)「ミラクリンの抽出」
- 朝倉香織(蘭)・森田舞(蘭)「文京区一長い温度計」
- 沖野友里(蘭)・菊池彩衣(蘭)「空気抵抗による速度の多段階増加」
- 真田ひかる(蘭)・清水玲奈(蘭)「色における光の反射と吸収」
- 泉水彩花(蘭)「二における生体へ

大学 森宮経営学部教授・副学長 満席の教室で最終講義

森宮勝子経営学部教授・副学長の最終講義が1月16日、新田都志子経営学部教授の司会により、本郷キャンパス B406 教室で行われました。

森宮教授は、1982年、本学経営学部の前身である文京女子短期大学経営学科時代から、専門であるマーケティング、消費者行動等に関わる講義を担当。『高齢社会の介護ビジネス』(千倉書房)をはじめとする沢山の著書や論文を執筆されています。その講義内容の濃さと、母親的包容力で学生を魅了し続け、多くの優秀な学生を社会に送り出してきました。

当日は、「消費者の行動と心理」最終講義『インターネット社会における消費者』をテーマに、受講者の立場に立ったわかりやすい資料をスクリーンに



受講者の立場に立った講義を展開する森宮教授

表示。「インターネットの登場と普及」「ネットライフの状況」「ネット通販の利用」「消費者行動の変化」について解説しました。1969年、米国の2大学で軍用として開発されたコンピュータ間のネットワーク稼働がインターネットの始まりですが、現在、誰でもが扱える小型コンピュータ機能を持つスマートフォンの普及により、消費者行動は大きく変わりました。それらの歴史やプロセスについての具体例をいくつも挙げた講義は大変理解しやすく、島田輝子学園長、川邊信雄学長はじめゆかりの教職員と学生たちは、満席の教室で熱気に囲まれながら、熱心に受講しました。

講義の終わりには、森宮ゼミ長の井上莉穂さん(4年)が花束を贈呈。川邊学長と櫻井隆経営学部長・教授からは労いの言葉が贈られました。

森宮教授は、今回で退任となりますが、客員教授として大学院で教鞭を執り、さらに高度な知識を院生に継承していきます。

大学 「ふらっと文京」10周年 記念講演に100名出席



左から平山先生、佐藤さん、小栗先生、柄田先生、椋島先生、金子先生、森下先生、加須屋先生

保育実践研究センター「ふらっと文京」が開設されてから10年という節目を迎えました。

同センターは、子育て世代の地域住民に広く開かれ、その中で人間学部

の「ふらっと文京」が開設されてから10年という節目を迎えました。

同センターは、子育て世代の地域住民に広く開かれ、その中で人間学部

保育実践研究センター「ふらっと文京」が開設されてから10年という節目を迎えました。

同センターは、子育て世代の地域住民に広く開かれ、その中で人間学部

Green Spirits



2020年のオリンピック・パラリンピック東京開催が決まりました。スポーツが持つ社会への影響力の大きさにあらためて驚かされたニューズでした。そこで、私の知る限りで「文京のスポーツ」について振り返ってみたいと思います。まずはトップアスリートから。本校卒業生にオリンピックが二人。モスクワ五輪(※政治問題から日本は不参加)の渡辺智恵子さん(昭和57年度卒業)と、ロサンゼルス五輪の関戸直美さん(昭和61年度卒業)が水泳で日本代表となりました。パラリンピックには、大村心緒さん(平成15年度卒業)がシッティングバレーという種目で北京・ロンドンと連続出場し、新体操の世界選手権には、井上実美さん(平成17年度卒業)が団体と個人で2回出場しています。また、バレーボールVリーグのトップチームNECレッドロケッツでは、内田暁子さん(平成15年度卒業)が現在キャプテンを務めています。国内外のトップレベルで活躍された卒業生の皆さんの在学中のようすを聞くと、スポーツと学業

がんばろう！文京スポーツ 清水直樹 高等部教頭

の両立にしっかり取り組んでいたと当時を知る先生方は強く語ってくれます。

次に、中高の部活動としてのスポーツを見つめたいと思います。スポーツは、これまでに水泳部、バレーボール部、剣道部、新体操部、アーチェリー部等が全大会に、サッカー部、ソフトテニス部は関東大会に出場しています。スポーツとは少し違いますが、鼓隊部時代から50年以上の歴史を誇るBMYのバトン部・カラーガード部・吹奏楽部の活躍は毎年のことです。4年前から本校では「スポーツをはじめとする部活動と学業の両立」をめざす「スポ学」という活動に取り組んでいます。部活動と学習の両立に懸命に取り組む生徒たちをサポートしていくことが、この活動の目的です。この活動を発展させて、生徒たちの成長をさらに高いものにしていくこと、来年度から「スポ学塾」を設立する予定です。これは、アスリートの養成をめざすのではなく、「スポーツでの学びを通して知徳体を備え、国際的な発信力のある人材の育成」をめざし、スポーツを通して、「身体」「メンタル」「栄養」などを深く学ぶ場です。学生時代にスポーツを通して得た経験が、社会に出た時に十分に活かされるような学びを提供していきたいと考えています。スポーツが与えてくれる無限の可能性を信じ、本校は今後もスポーツに取り組み生徒を支援していきたいと考えています。

がんばろう！文京スポーツ！

大学 GCI語学・異文化理解留学プログラム

アジア4カ国で47名が学ぶ

本学では、創立100周年を迎える2024年を視野に、2013年より全学部を横断する新たな教育プログラム「Beiko GCI」(文京グローバルキャリア・インスティテュート)をスタートさせました。これは、真のグローバル人材の育成を追求し、世界を学びの場とする本学独自の教育プログラムです。その一環として、昨年の夏季休暇中に「GCI語学・異文化理解留学プログラム」が実施され、GCI生(GCIの授業を履修する学生)のうちの47名が、アジアの国々での研修に臨みました。

12月14日、本郷キャンパ 時間、プレゼンテーションス仁愛ホールにおいて、「GCI語学・異文化理解留学プログラム」に参加した学生による発表会が行われました。今回の研修先は、フィリピン、マレーシア、タイ、中国の4カ国。池田芳彦経営学部教授の司会により、西村信勝GCI機構長・外語学部教授が挨拶後、研修生からは次の発表がありました。

●マレーシア 8月26日(9月24日まで、マラ工科大学で研修。英語の授業では、新聞記事に書かれている内容を基に、筆者の言いたいこと、読んだ感想などをまとめ、翌日、自分の言語学部の授業で挨拶後、研修生からは次の発表がありました。

●タイ 8月8日(9月7日までタマサート大学で研修。授業は、文京学院生用の英語クラス、タイ人・中国人などの合同クラスで受けました。タイ・スタディーズの授業は、同大学に留学中の10カ国以上の学生、約80名と共にタイに関する講義を英語で受講しました。スタディ・トリップでは、アユタヤ、博物館などを見学し、課外授業を楽しみました。

●中国 8月3日(9月1日まで北京語言大学で研修。授業はリスニングとライティングがあり、中国で使われている英語の教科書を通して学びました。授業中に「なぜ?」と問われることが多く、自分の意見を英語で発表する力がつきました。異文化理解授業では、「言葉からわかる日中の文化的相違」について学びました。



発表会を終えた GCI 生

3日(9月1日まで北京語言大学で研修。

ポスト発表は次の10テーマ。「空気抵抗による速度の多段階増加」「色に

「口頭発表部門」と「ポスターセッション部門」があり、本校は高1と高2が参加。口頭発表は『空気抵抗による速度の多段階増加』をテーマに、沖野友里さん(2年)、菊池彩衣さん(同)、朝倉香織さん(同)、森田舞さん(同)、柴田美波さん(2年)が臨み、質疑応答にも堂々と対応しました。

平成25年度「SSH東京都内指定校合同発表会」が12月23日、東海大学高輪キャンパスで行われました。これは、文科省からSSHの認定を受けている都内12校が一堂に集り、これまで取り組んできた研究成果を発表する年に一度の大きなイベントです。



生徒たちの視線を浴びながら、これまでの成果を披露しました。他の参加校は、都立科学技術高等学校、都立多摩科学技術高等学校、都立日比谷高等学校、都立小石川中等教育学校、都立戸山高等学校、東京工業大学附属科学技術高等学校、筑波大学附属駒場高等学校、東京学芸大学附属高等学校、早稲田大学高等学院、玉川学園高等学校、東海大学付属高輪台高等学校。

高校 2013年度SSH(スーパーサイエンスハイスクール)便り

「東京都内指定校合同発表会」大盛況

高校 1年~3年特進クラス対象

現役女子大生による大学説明会

高1~高3の特進クラス対象「現役女子大生による大学説明会」が12月18日、駒込キャンパスBAL-Studioで行われました。



(左から) 後藤さん、上野さん、洪さんの話を熱心に聞く本校生徒(右は司会者)

学部3年の洪いづみさん、上野大学法学部法律学科1年の上野陽菜乃さん、立教大学現代心理学部映像身体学科3年の後藤優果さん。それぞれ「大学の様子」「その大学に進学するに当たっての経験」「合格するまでの過程」など、具体的な話を聞きました。

「合格するまでの過程」など、具体的な話を聞きました。

経営学部・外国語学部の学生を前に、次の内定者4年生)が就活体験を話しました。

- 松尾菜依(外国語学部) 金融・証券会社
- 柴田英里奈(同) 金融・損保会社
- 黒川まこと(同) 専門商社(食品)
- 高木未来(経営学部) 専門商社(OA機器)
- 井久保直樹(同) サービス(駐車場)

12月11日本郷キャンパス



大学 キャリアてっぺんフォーラム

厳しい就活を乗り切り、社会人として活躍中の先輩や、様々なチャレンジを通して内定を得た学生の話聞く「キャリアてっぺんフォーラム」が、ふじみ野・本郷両キャンパスで開かれ、参加学生に大きな刺激を与えました。

11月20日ふじみ野キャンパス

就職活動への意欲の高い103名(内「キャリア実践講座」受講生93名)を前に、次の人間学部卒業生が就活体験を話しました。



●五十嵐美紗さん(2010年、共生社会学科卒業) 自動車販売会社

●吉田光咲さん(2012年、児童発達学科卒業) アパレル会社

●本間陽翔さん(2011年、人間福祉学科卒業) 家電量販店

●高際愛さん(2010年、心理学科卒業) ネット広告会社

どの発表者も「学生時代に打ち込んだこと」を面接時に熱くアピール。共通するのは「企業への強い思い」。落ち込んだ時には



左から高際さん、吉田さん、五十嵐さん、本間さん

落ち込んだ時には



佐々木委員長

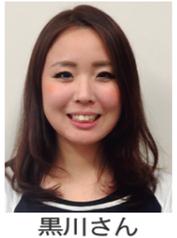
分転換を上手に行い、「就活を諦めない」気持ちで臨みました。

伊藤英夫教職員実行委員長・人間学部からは、発表者と会場の学生たちにエールが送られました。

「コミュニケーション社会(コミュニケーション社会)学科3年)は、「先輩方の生きたお話を聞いて、大きな励みになりました。私も今日を糧に就活を乗り切ります!」と気持ちを新たにしました。



伊藤教職員実行委員長よりエール



黒川さん



高木さん



松尾さん



柴田さん



本間学生実行委員長



西村教職員実行委員長より記念品贈呈



井久保さん